## (統合分野)

授業	臨床看護技術演習	講師教員	実務経験	単位数		
科目			教貝	0	1	
	1.これまでに学んだ看護技術を統合し、対象に応じた援助を実施できる。				時間数	
学	2.複数患者の受け持ち・多重課題の対処ができる。				30	
習	3.看護技術の到達度と課題を明確にできる。				学 年	
目					3	
標					時期	
					第 1~2 学期	
回数	主題		学 習 内 容	授業方法	講師	
1	臨床で看護を行うということ	1.臨床看	護の実践	講義	let E	
	複合技術の実践①	2.アセス	メントと援助計画の立案	個人ワーク	教員	
2	複合技術の実践①	1.アセス	メントと援助計画の立案	GW	教員	
3	<b>複百匁削の夫政</b> ①	1.シミュ	レーションの実施と振り返り	演習	教員	
4	複合技術の実践②	1.アセス	メントと援助計画の立案	個人ワーク	教員	
5 6	複合技術の実践②	1.アセス	メントと援助計画の立案	GW	教員	
		1.シミュ	レーションの実施と振り返り	演習	教員	
7	看護における多重課題	1.1 日の業務の組み立て				
		2優先順位の判断基準		講義	教員	
		3.多重課	題への対処			
8	A	1.複数の	受け持ち患者の行動計画の	個人ワーク	<i>д</i>	
9	多重課題への対処①	立案		GW	教員	
10	多重課題への対処②	1.複数の受け持ち患者の検温		個人ワーク	教員	
11	夕壬細町。の牡加の	1.複数の	受け持ち患者の検温	GW	教員	
12	多重課題への対処②	1.シミュレーションの実施と振り返り		演習	教員	
13	突発的な事態への対処	1.突発的な事態における判断と対処		GW	教員	
14	大光明な争版、VV)別処	2.シミュレーションの実施と振り返り 漬		演習	教員	
15	評価	筆記試験				
10		まとめ				
評価	筆記試験 50 点	テキ なし				
方法	課題レポート 50点	スト				